

- BMWジャパン、BMW「116i」等計17車種の燃料ポンプに不具合があるとしてリコール 12年6月20日～14年4月5日に生産した1万0012台  
燃料ポンプにおいて、当該ポンプ内部の製造工程が不適切な為、内部に異物が混入しているものがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、燃料ポンプ内のインペラに異物が噛み込み、燃料ポンプが停止し、最悪の場合、走行中にエンジンが停止し再始動ができなくなる恐れがある。
- マツダ、タカタ製エアバッグのインフレーターに不具合があるとしてリコール  
07年4月2日～11月16日に製造した「アテンザ」2625台の助手席用エアバッグ、02年3月1日～05年5月17日に製造した「アテンザ」4万0165台及び03年2月14日～08年2月16日に生産した「RX-8」3万2784台の運転席用エアバッグ。合計7万5574台  
特定のエアバッグのインフレーター(膨張装置)において、エアバッグ展開時にインフレーター内圧で容器が破損して構成部品が飛散し、乗員が負傷する恐れがある。
- ゼネラルモーターズ・ジャパン、シボレー「コルベット」等計4車種のヘッドライト(ロービーム)リレーに不具合があるとしてリコール  
排気管の熱影響により、エンジンルーム内ヒューズボックスが収縮することがある。その為、そのまま使用を続けると、ヒューズボックス内のヘッドライト(ロービーム)の電気回路が折損し、最悪の場合、不点灯になる恐れがある。
- カーメイト、チャイルドシート「エールベベ・クルット3i」の股ベルトアッセンブリーに不具合があるとしてリコール  
股ベルトアッセンブリー取付部の金属製プレートと端部処理が不適切な為、当該プレートとの摩擦により股ベルトが損傷することがある。その為、そのまま使用を続けると損傷が進行し、最悪の場合、当該ベルトが破損して、乗員を十分に拘束できない恐れがある。 14年11月4日～15年5月
- トヨタ自動車、「ヴィッツ」等計21車種のタカタ製エアバッグの不具合でリコール 01年12月20日～08年12月25日に製造した36万0261台
- 三菱自動車、「ランサー」「i(アイ)」のタカタ製エアバッグの不具合でリコール 07年2月26日～08年12月26日に製造した3万0744台
- 日産自動車、「フーガ」等計7車種のタカタ製エアバッグの不具合でリコール 07年4月2日～09年1月8日に製造した3万5946台  
特定の助手席用エアバッグのインフレーター(膨張装置)において、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損して構成部品が飛散し、乗員が負傷する恐れ。
- 日産自動車、「ノート」等計10車種のプッシュエンジンスタートスイッチに不具合があるとしてリコール 13年6月14日～14年4月10日に生産した9万1260  
プッシュエンジンスタートスイッチを組み付けるイモビライザアンテナの成形条件が不適切な為、熱収縮により、当該プッシュエンジンスタートスイッチとの隙間が狭くなり、摺動抵抗が増加したものがある。その為、そのまま使用を続けると、当該スイッチ操作時に押したまま戻らず、緊急停止操作と判定してエンジンを停止することがあり、最悪の場合、走行中にエンストする恐れがある。
- 日産自動車、「ジューク」のタイミングチェーンに不具合があるとしてリコール 10年9月27日～12年12月4日に生産した7984台  
エンジンのタイミングチェーンにおいて、プレートを連結するピンの耐久性が不足している為、表面処理が摩耗するものがある。そのまま使用を続けると、プレートのピン挿入穴が摩耗してタイミングチェーン全長が伸び、チェーンガイドと干渉して異音が発生し、最悪の場合、タイミングチェーンが破損してエンストに至る恐れがある。
- 日産自動車、「ノート」ニスモ仕様の床下補強板に不具合があるとしてリコール 14年9月23日～15年1月22日に生産した2952台  
ニスモ仕様車の床下補強板において、組付け作業が不適切な為、組付けベルトの締付けが不足しているものがある。その為、そのまま使用を続けると、走行中の振動等により当該ベルトが緩むおそれがあり、最悪の場合、床下補強板が脱落して、他の交通の妨げになる恐れがある。